

編集後記

やっと編集作業が終わった。今回から編集委員が回り持ちで編集後記を担当することになり、そのトップバッターに命じられた。第1巻第1号が多くの投稿で立派に発行できたあとただただに、第2巻第1号には原稿が集まるかどうか、編集委員としては心配だった。しかし、その不安は杞憂に終わった。前号にもまして、力のこもった原稿が数多く、しかも幅広い分野からの研究の成果が寄せられた。本学の発展にとって、喜ばしいかぎりではある。

しかし、編集作業にたずさわる我々にとっては頭の痛い問題もおきている。受領からはじまるきわめて複雑でやっかいな作業を、専従の教職員もいないままにこなさなくてはならないのである。さいわいにも今回から、有力なメンバーが2人ほど増えたおかげで、なんとかやり繰りできたが、それでも関係者諸氏にはご迷惑をおかけしたと思う。大きな誤りもなければいいと、念じている。

創設期の混乱を克服して、本学も本格的に教育・研究にのりだす時期にきている。これまで、それぞれで行われていた各分野の成果を互いに批判的に検討するなかから、医療福祉の新しい概念の構築と研究水準の引き上げをになうことが要請されているであろう。

本誌を媒介に多くの会員の研究成果を刺激として、より創造的で開発的な質の高い研究に結びつけていただければ、編集に携わった者として、これにまさる幸せはない。

学長をはじめ、多くの学園関係者の方々のご尽力があったればこそ、第2巻第1号も無事に発行できたことを記して、感謝の意としたい。

編集委員 大谷 強

川崎医療福祉学会誌

平成4年6月15日発行

発行者 江 草 安 彦

発行所 川 崎 医 療 福 祉 学 会
〒701-01 倉敷市松島288

印刷者 蜂 谷 美 敬

印刷所 西尾総合印刷株式会社 横井支店
〒701-11 岡山市横井上90